

第2部 セッション② <信用金庫セッション>

「しんきんESG広域連携協定」を締結している
4信用金庫によるパネルディスカッション

テーマ：「4信金による**ESG**広域連携と**GX**推進」

登壇者の紹介



IGES

リサーチマネージャー
赤木 純子

モデレーター



福岡ひびき信用金庫

経営企画部
サステナビリティ推進室長
小茅 智弘



尼崎信用金庫

価値創造事業部
部長兼法人ソリューション
グループ長
井上 公宏



浜松いわた信用金庫

浜松いわた信用金庫
SDGs推進部
SDGs企画課長
久米 雅之



川崎信用金庫

お客さまサポート部長
能川 圭司

本セッションの背景と目的

- GXを巡る大きな潮流と、地域の企業経営の現場との間には、なお隔たりがある。
- 地域GXを支える信用金庫の取組が、新たな段階に入りつつある。
- 地域GXを前に進めるための、金融の次の一手を探る。

論点整理

1. 地域密着型金融から見た「GX経営のリアル」
— 現場では何が起きているのか？
2. 信用金庫によるGX推進の取組と、単独では越えられない課題
— 連携が生まれた背景とは？
3. 地域GXを加速させるために、次に必要な「金融の役割」
— 期待と次のアクションとは？

論点整理

1. 地域密着型金融から見た「GX経営のリアル」
— 現場では何が起きているのか？
2. 信用金庫によるGX推進の取組と、単独では越えられない課題
— 連携が生まれた背景とは？
3. 地域GXを加速させるために、次に必要な「金融の役割」
— 期待と次のアクションとは？

そもそも信用金庫とは どのような金融機関？



1. 信用金庫の存在目的

信用金庫は「利益最大化」ではなく「地域と企業の持続」を目的にした金融機関

- ▶ 非営利の共同組織
- ▶ 地域の繁栄＝自らの存続

2. 信用金庫の時間軸

信用金庫は短期成果より、中長期の事業継続を重視

- ▶ 親から子へ何世代にもわたる取引
- ▶ 顧客・地域と堅実に発展・成長

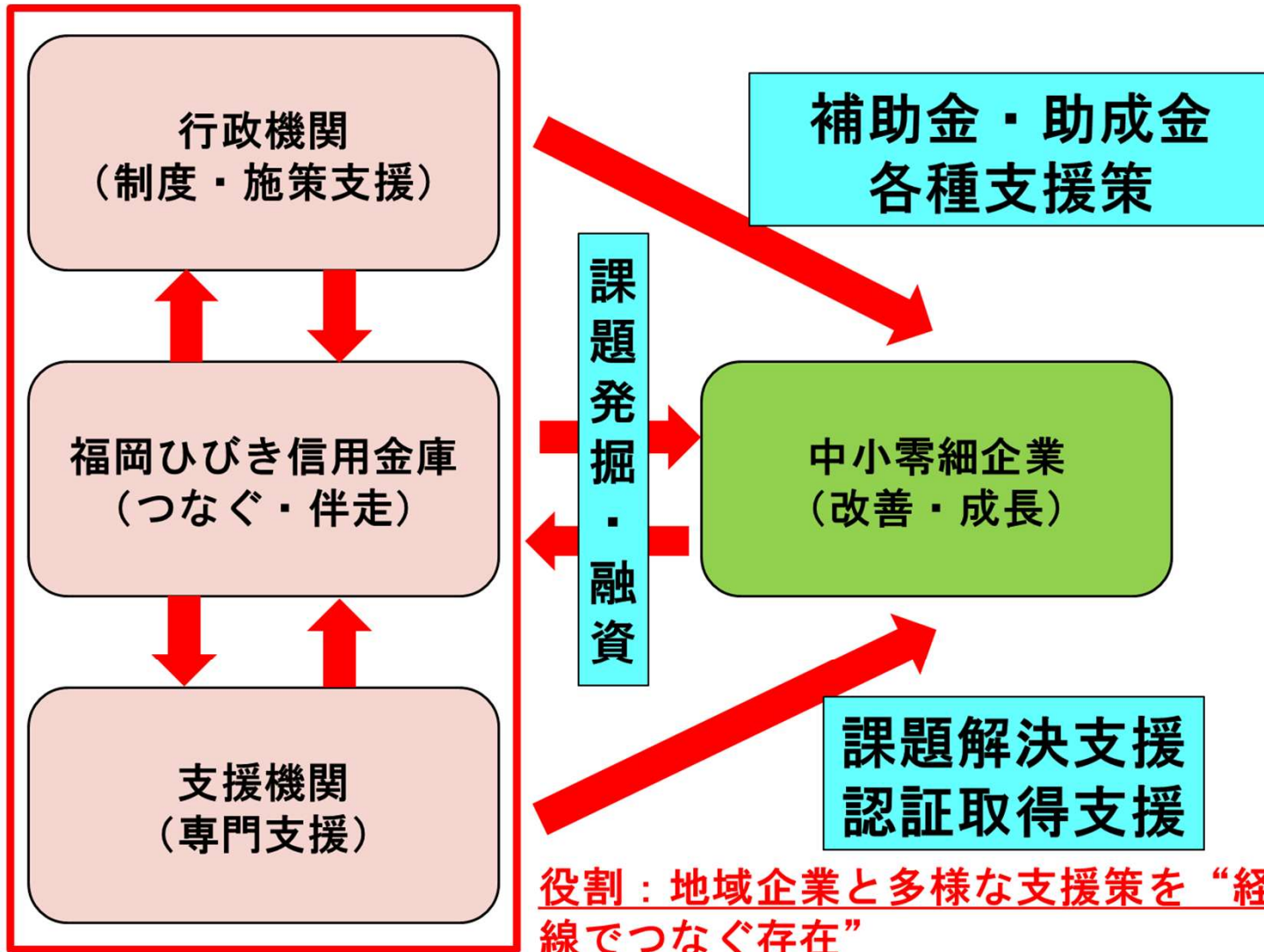
3. 取引先との関係性

信用金庫は単なる「資金の提供者」ではなく「地域に残る経営の相談相手」

- ▶ 地域限定の金融機関(信用金庫法)
- ▶ 中小企業・小規模事業者が取引先の中心

**信用金庫は地域企業の将来にわたる事業の継続を
支援する目的で作られた金融機関**

三者連携による伴走支援



“北九州地域でのGXの動向” についての認識

👉 まず、私たち信用金庫が見ている現状です

北九州地域は、全国的にも早期にGXに取り組んできた“実証・集積拠点”です。一方で今後は、先進事例に止まらず、“地域中小企業全体へどう実装していくか”というフェーズに入っています。

👉 つまり

◆ GXに関するビジョンや旗振りは多い

◆ 大企業・公共主体の先行事例は多い

◆ 一方で、中小零細企業の多くは、「GX＝何をすればよいのか分からない」「コスト負担の話に見えてしまう」という“温度差”がある。

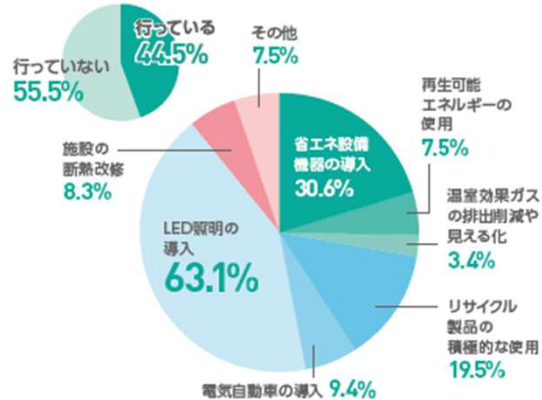
👉 そこで私たち信用金庫が意識しているのが

中小零細企業に対しては、GX単独の話では前に進みません。事業承継・設備更新・人手不足対応・新事業開発など、本来の“企業課題”と一体でGXを語ることが重要だと考えています。

脱炭素経営の取り組み状況に関する調査について

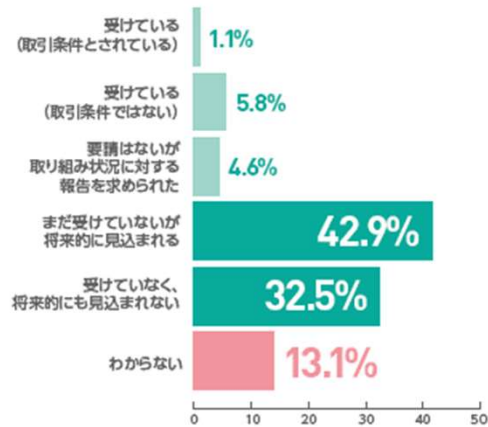
Q1

貴社では脱炭素化に向けた取り組みを実施していますか。 ※1つ選択
 貴社が既に取り組んでいる、もしくは今後実施したいと考える取り組みをお答えください。 ※最大2つ選択



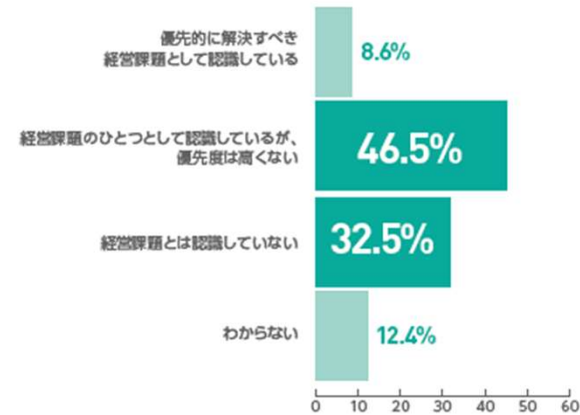
Q3

取引先から脱炭素に向けた具体的な要請を受けていますか。 ※1つ選択



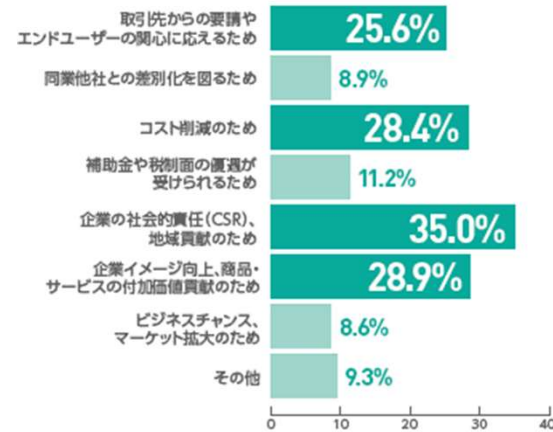
Q2

貴社の脱炭素に対する優先度についてお答えください。 ※1つ選択



Q4

貴社が考える脱炭素経営の目的についてお答えください。 ※最大2つ選択

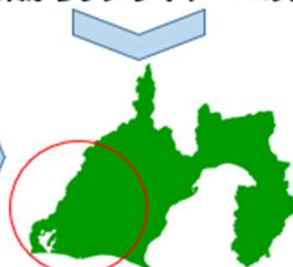


産・学・管・金で中小企業の脱炭素化を支援



大手企業からサプライヤーへの要請

- 行政
- ・静岡県、浜松市、磐田市、湖西市等
 - ・しずおかCN金融コンソーシアム
 - ・浜松地域脱炭素経営支援コンソーシアム
 - ・浜松CN推進協議会



- 支援機関
- ・しんきん経済研究所
 - ・静岡県環境資源協会
 - ・浜松商工会議所
 - ・浜松地域イノベーション推進機構

営業エリアである静岡県西部の中小企業を支援

金融機関
浜松いわた信用金庫 ESG広域連携（福岡ひびき信金、尼崎信金、川崎信金）



地域での役割

川崎市SDGsプラットフォーム

川崎市SDGsプラットフォーム

事務局：川崎市・川崎信用金庫

川崎商工会議所、川崎青年会議所、川崎市産業振興財団、
かわさき市民活動センター、川崎市地球温暖化防止活動推進センター

R3.3設立

団体間のマッチング

参加団体の取組支援

勉強会・事例共有

情報共有・交流促進

情報発信

■ 優良事例の共有
かわさきSDGs大賞

R4初開催

■ 事例のモデル化
SDGsモデル事業支援補助金

R5本格実施

■ パートナー同士の連携
分科会の設置

R4設立

■ 勉強会
フォーラム・セミナーの開催

R3開始

■ 活動の見える化
ポータルサイトの開設

R5開始

川崎市脱炭素経営アクションの推進

認定事業者 募集中

脱炭素アクションで
会社経営に
メリットをプラス

脱炭素化の取組を
取引先にアピールできるね!

認定書の発行、市によるPR

設備更新等に
役立つね!

融資や補助金等での優遇

川崎市では、計画的に脱炭素化に取り組む中小企業等を「川崎市脱炭素経営アクション推進事業者」として認定し、支援を行う制度を新たに創設しました。
広報面・資金面において、官民連携により支援・優遇を行い、強力にサポートします。

【問合せ先】川崎市環境局脱炭素戦略推進室 環境技術支援担当
電話：044-200-0369 メール：30titan@city.kawasaki.jp



引用：川崎市公式HPより

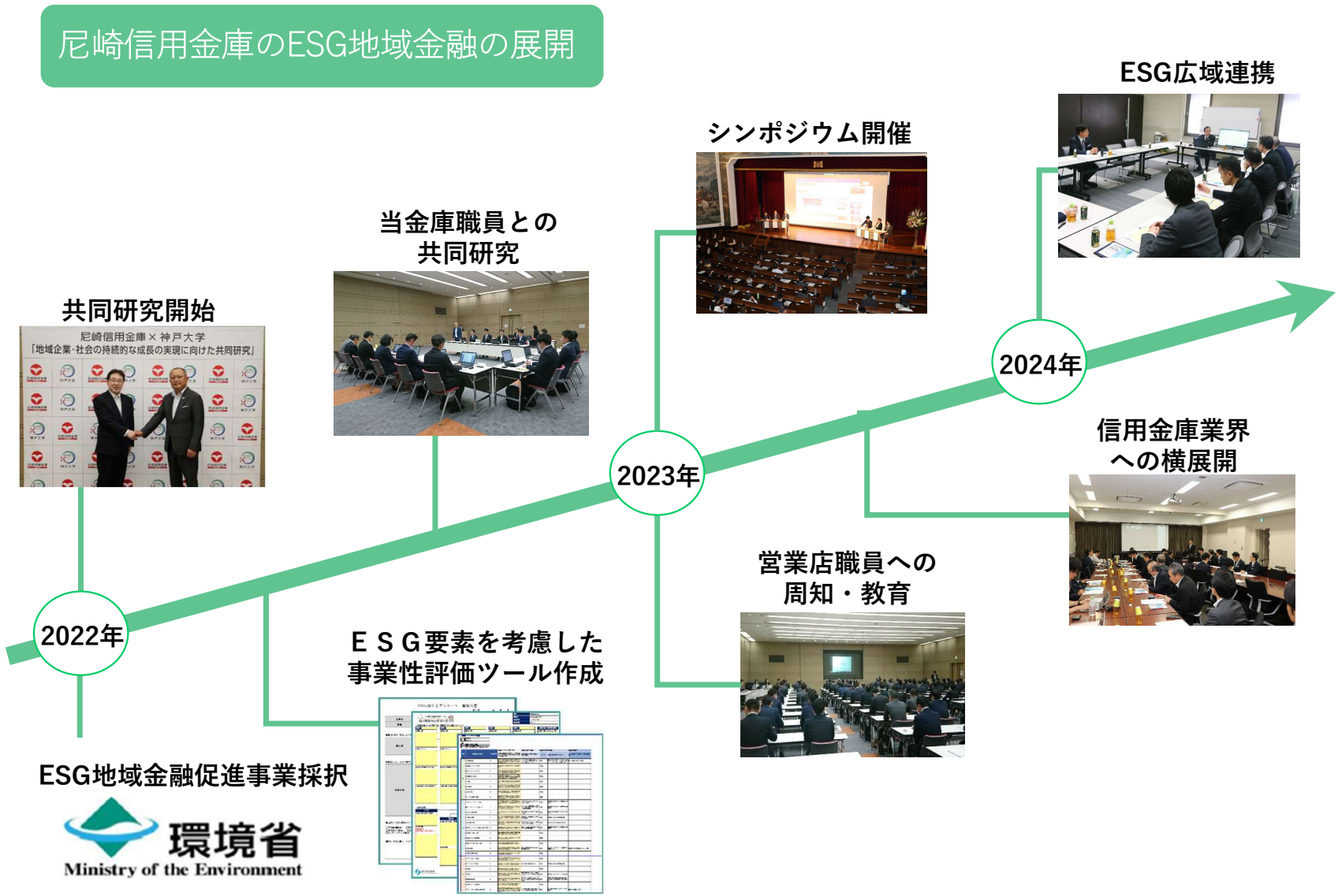
論点整理

1. 地域密着型金融から見た「GX経営のリアル」
— 現場では何が起きているのか？
2. 信用金庫によるGX推進の取組と、単独では越えられない課題
— 連携が生まれた背景とは？
3. 地域GXを加速させるために、次に必要な「金融の役割」
— 期待と次のアクションとは？

川崎信用金庫 × 浜松いわた信用金庫 × 尼崎信用金庫 × 福岡ひびき信用金庫
しんきんESG広域連携協定 締結式



尼崎信用金庫のESG地域金融の展開



ESG要素を考慮した3種類の事業性評価シートの概要

- **「選択式設問シート」**は、事業者のESG、SDGsに対する取組や関与の深度を簡便に把握し、事業者と課題意識を共有するためのシートである。**アンケート形式であるため、幅広い業種かつ多数の事業者に対して実施することが可能。**
- **「ESG要素を考慮したローカルベンチマーク」**は、通常のローカルベンチマークを活用した事業者の強みや課題を共有するための対話の際に、**主要なESG項目に対する取組状況も併せて把握するためのシート**である。
- **「ESG課題評価シート」**は、事業者のESG分野に関する取組をより詳細かつ具体的に把握・評価するためのシートである。**ESG分野の項目が網羅的に設けられており、ESGの取組伴走支援に活用可能。**

ESG要素を考慮した3種類の事業性評価シート（ESG対話シート） 概要

	選択式設問シート	ESG要素を考慮したローカルベンチマーク	ESG課題評価シート
目的	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 企業のESGに関する関心度、課題意識、取組状況を簡便に把握する ✓ ESG目線の対話のきっかけづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 既存のローカルベンチマークの対話の際に、主要なESG項目の取組状況も併せて簡便に把握する ✓ SDGs・ESGへの取組みの必要性認識 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 各企業のESG分野に関する取組を詳細かつ具体的に把握・評価する
記入内容	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ESG、SDGsの関心度（4段階） ✓ ESG分野12項目の取組状況（取組あり/検討中/取組予定なしの3段階） 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ （既存のローカルベンチマーク項目に加え）ESGの主要4項目の取組状況 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ESG分野26項目に対する関心度・取組状況・課題
対象企業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 全企業 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ローカルベンチマークを活用した対話実施先 ✓ 日々の渉外活動を通じて事業実態を把握したい企業 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ESGの取組に意欲的な企業

選択式設問シート

- 企業のESGに関する関心度、課題意識、取組状況を簡便に把握する
- ESG目線での対話のきっかけづくり
- ヒアリング結果から地区や産業特性等を分析し、今後のソリューションに活用する

ESGに関するアンケート 質問内容

記入日： 年 月 日

企業名	
業種	

1. 業種の把握

■ 貴社のESG、SDGsに対する関心度をお知らせください。（該当するもの1つに丸をお付けください。）

関心度	<input type="radio"/> ① ESG、SDGsを経営戦略に組み込み、具体的な取組を行っている
	<input type="radio"/> ② ESG、SDGsに関心があり、具体的な取組を行う予定がある
	<input type="radio"/> ③ ESG、SDGsに関心はあるが、具体的な取組を行う予定はない
	<input type="radio"/> ④ ESG、SDGsに関心がない、知らない（理由：方法がわからない、リソース不足、資金不足）

2. ESG・SDGs全般に関する関心度

■ 貴社のESG、SDGsに関する取組状況をお知らせください。（各項目ごとに当てはまる方にチェックをお付けください。）

取組状況	<input type="checkbox"/> ① CO2排出量削減	<input type="checkbox"/> 取組あり	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 取組予定なし
	<input type="checkbox"/> ② 再生可能エネルギーの利用	<input type="checkbox"/> 取組あり	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 取組予定なし
	<input type="checkbox"/> ③ 廃棄物の管理	<input type="checkbox"/> 取組あり	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 取組予定なし
	<input type="checkbox"/> ④ リサイクルに関する取組	<input type="checkbox"/> 取組あり	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 取組予定なし
	<input type="checkbox"/> ⑤ 労災防止の徹底	<input type="checkbox"/> 取組あり	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 取組予定なし
	<input type="checkbox"/> ⑥ 近隣住民への配慮・対策	<input type="checkbox"/> 取組あり	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 取組予定なし
	<input type="checkbox"/> ⑦ 製品・サービスの安全性	<input type="checkbox"/> 取組あり	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 取組予定なし
	<input type="checkbox"/> ⑧ 品質保証	<input type="checkbox"/> 取組あり	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 取組予定なし
	<input type="checkbox"/> ⑨ 人材確保	<input type="checkbox"/> 取組あり	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 取組予定なし
	<input type="checkbox"/> ⑩ コンプライアンス遵守	<input type="checkbox"/> 取組あり	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 取組予定なし
	<input type="checkbox"/> ⑪ 事業継続計画（BCP）	<input type="checkbox"/> 取組あり	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 取組予定なし
	<input type="checkbox"/> ⑫ 経営体制・リスク管理体制	<input type="checkbox"/> 取組あり	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 取組予定なし

3. 具体的なESG要素に関する取組状況（選択式）

各項目はESG課題評価シートと整合性を確保

※ESG課題評価シートによる対話のきっかけとすることを想定

■ 上記①～⑫の項目のうち、特に課題意識が高い項目について丸をお付けください。（丸は3つまで）

<input type="checkbox"/> ①CO2排出量削減、	<input type="checkbox"/> ②再生可能エネルギーの利用、	<input type="checkbox"/> ③廃棄物の管理、	<input type="checkbox"/> ④リサイクルに関する取組、
<input type="checkbox"/> ⑤労災防止の徹底、	<input type="checkbox"/> ⑥近隣住民への配慮・対策、	<input type="checkbox"/> ⑦製品・サービスの安全性、	<input type="checkbox"/> ⑧品質管理、
<input type="checkbox"/> ⑨人材確保、	<input type="checkbox"/> ⑩コンプライアンス遵守、	<input type="checkbox"/> ⑪事業継続計画（BCP）、	<input type="checkbox"/> ⑫経営体制・リスク管理体制

4. 各ESG要素に対する課題意識（選択式）

ESG要素のうち特に課題意識の高い項目を3つ選択

■ ESG、SDGsに関し、力を入れている取組があれば具体的にお知らせください。（自由記述）

--

5. 具体的なESG要素に関する取組状況（自由記述）

ESG要素を考慮したローカルベンチマーク (業務フロー・商流)

- バックカスティングの発想で長期的なビジョンを描けるよう支援する
- 営業職員のESGに関する対話ノウハウの蓄積

<製品製造、サービス提供における業務フローと差別化ポイント>

業務①	業務②	業務③	業務④	提供内容/顧客提供価値
■実施内容	■実施内容	■実施内容	■実施内容	■製品・商品・サービスの内容
■差別化ポイント	■差別化ポイント	■差別化ポイント	■差別化ポイント	■どのような価値を提供しているか
■業務上内在するリスク・機会	■業務上内在するリスク・機会	■業務上内在するリスク・機会	■業務上内在するリスク・機会	■業務上内在するリスク・機会
■関連するSDG・目標・ESG課題等	■関連するSDG・目標・ESG課題等	■関連するSDG・目標・ESG課題等	■関連するSDG・目標・ESG課題等	■関連するSDG・目標・ESG課題等

業務名を記載します。
それぞれの業務で、どのようなことを実施しているかについて具体的に記載します。
記載した業務内容において、自社が工夫している点、こだわっている点、他社と異なる点について、差別化ポイントとして記載します。そして、その良さが出てくる理由をさらに「なぜ」と質問し深堀りします。活用しているIT技術やSDGsに繋がる取り組みも記載します。

業務プロセスを経て生み出された、製品・商品・サービスの内容を記載します。
提供している付加価値、自社が選ばれている理由などを記載します。SDGsの目標との繋がりも考えます。

「4つの視点」の経営者(経営理念・ビジョン)と紐づくことが多く、社会(S)に対する価値提供につながるが多くなる傾向があります。

業務を遂行していく中で、ESGの観点でリスク・機会はないか業務毎に分析します。
例) 座礁資産リスク、業務毎のマニュアル、廃棄物のリサイクルIT化等



<商流把握>

仕入先	協力先	会社	顧客先	エン지니어
■社名・取引金額・内容等	■社名・取引金額・内容等	■ESG取組状況 ■インパクト分析	■属性(消費者・企業等) ■社名・取引金額・内容等	■属性(消費者・企業等) ■社名・取引金額・内容等
■選定理由 ESG取組(例) 従来に記述した原材料を用いている	■選定理由 主要な仕入先の社名、取引内容、取引金額、取引頻度、受取方法など、仕入先に関する情報を記載します。	■選定理由 自社が仕入先となぜ取引をしているのか、仕入先を選んでいる理由について記載します。活用しているIT技術やSDGsに繋がる取り組みも記載します。	■選定理由 ESG取組(例) 排出量に関する観測に反映している	■選定理由 ESG取組(例) 顧客や中間社会に配慮した製品を製造している
■ESG取組状況 ■インパクト分析	■ESG取組状況 ■インパクト分析	■ESG取組状況 ■インパクト分析	■ESG取組状況 ■インパクト分析	■ESG取組状況 ■インパクト分析

労働環境、環境の負荷低減等につながる取組を実施している取引先から原材料の調達をしているか等を確認します。

主要な得意先の社名、取引内容、取引金額、取引頻度、取引方法、販売チャネルなど、得意先に関する情報を記載します。

得意先が自社となぜ取引をしているのか、得意先から選ばれている理由について記載します。活用しているIT技術やSDGsに繋がる取り組みも記載します。

得意先が上場企業の場合、得意先の環境に対する活動方針やサプライチェーン全体での脱炭素に向けた取組み動向を把握します。

参考(業務フロー別のESG課題・キーワード整理)

サプライチェーン	調達	設計・製造	組立	販売	廃棄
ESG課題	<ul style="list-style-type: none"> 製造工程における水使用量の管理 資源投入量の可視化 環境配慮製品の製造 梱包材の活用 サプライチェーンの管理 ライフサイクルアセスメントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> CO2排出量の可視化、削減目標の設定 再生可能エネルギーの活用 環境マネジメント、環境負荷の算定 生産多様性を確保する取組 働き方改革の促進、社員のエンゲージメント向上施策の実施 ITやDX技術による生産性向上 労働防止の推進 多様な女性、外国人等の採用(ダイバーシティ&インクルージョンの実践) 地域社会への配慮 地域社会貢献に繋がる取組 顧客サービスの安全性 品質保証 法令遵守 事業継続計画(BCP) 経営体制・リスク管理体制 サステナビリティに関する経営体制 			<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物の再資源化促進 使用済み製品のリサイクル促進 廃棄物の適切な管理、処理量の可視化

ESG課題評価シート

①業務フロー・商流の把握

店名	
企業名	
業種	製造業

業務フローとESG課題

業務フロー	提案・受注	試作	仕入	製造	検品・納品
関連するESG課題					

商流におけるESGに関する要請

商流	調達	設計・製造・サービス提供		販売・使用・廃棄	
	仕入先	関係・協力先	自社	販売先	エンドユーザー
取引先企業名			—		
取引先からのESGに関する要請			—		

GX推進の体制整備を行い取引先の脱炭素化に繋げる

経営の根幹であるSDGs

SDGs宣言、専門部署設置

人材(人財)の育成

脱炭素アドバイザーの取得

地域密着型支援

コンタクトカバー率92.6%

気候変動対策推進PT

TCFD賛同表明



地域ステークホルダーとの連携



**脱炭素先行地域における官民連携による
地産地消再エネ電力 100%の店舗稼働開始**

<スキーム図> ●地産地消再エネ電力は、川崎市の地域でこみぎわしてつくったバイオマス発電の電力のこと。



再生エネルギー
高津センター
(バイオマス発電)

→



小売電気事業者
KAWASAKI
MIRAI
ENERGY

→



川崎信用金庫
高津支店・梶ヶ谷支店

←



太陽光発電 (PV)

高津支店



屋根置き太陽光発電設備、オフグリッド型のソーラーカーポート、EV自動車、蓄電池、充電器の設置





梶ヶ谷支店



屋根置き太陽光発電設備の設置





川崎未来エネルギー(株)との連携

・川崎市は環境省が定める脱炭素先行地域に選定されており、高津区にある4店舗（高津支店・梶ヶ谷支店・子母口支店・久地支店）は集中的に脱炭素に取り組んでいる

・2025年4月より高津支店と梶ヶ谷支店が川崎未来エネルギーからの電力需給を開始し、使用する電力のすべてを地産地消の再生エネルギーで運営する店舗として稼働開始した

※地産地消の再生エネルギーとは？
地域で発電した再生可能エネルギーを、同一地域で消費する仕組み。

環境負荷低減+地域の経済循環+防災対策の強化を同時に実現！



論点整理

1. 地域密着型金融から見た「GX経営のリアル」
— 現場では何が起きているのか？
2. 信用金庫によるGX推進の取組と、単独では越えられない課題
— 連携が生まれた背景とは？
3. 地域GXを加速させるために、次に必要な「金融の役割」
— 期待と次のアクションとは？